

令和3年度 大阪府立牧野高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

日 時 令和4年2月16日(水) 13:30~15:00

場 所 大阪府立牧野高等学校 会議室

出席者(敬称略)

協議会委員 松宮 新吾(会長)、有堀 正彦(副会長)、福原 哲晃

尾崎 順子(欠席)、田中 博(欠席)、正田 洋子

学校長 日笠 賢

事務局 田中 眞、石田 暁、大塚 正宣、中務 正和

1、会長挨拶

今年度最後の学校運営協議会の開催に際しまして一言ご挨拶申し上げます。まん延防止措置の中、対面で協議会が出来るということにありがたく思っています。また、牧野高校の方でも広い会場や環境を整えていただいております。我々もオンラインでの会議が増えたが、このように場を共有しながら会議が出来るということの大切さを改めて感じています。今回第3回ということで、この1年間の学校経営について協議委員の皆さまにご評価を頂いて、来年度へつなげていく必要があるため、忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。本日はよろしく申し上げます。

2、校長挨拶

本日はお忙しい中お集まりいただき、本当にありがとうございます。コロナの感染が爆発的に増えており、牧野高校も3学期になって多数の感染者が出ています。3年生は入試があるので心配をしながら見っていますが、今のところ大きな影響はない模様です。受験が出来ないという話は届いていないので助かっています。1・2年生については来週に学年末考査があり、受験できない生徒や学級閉鎖が起きると大変なので、何とかそういうことを避けるように早めの対応をしているところです。本日、対面で協議会が出来ることを嬉しく思います。忌憚のないご意見をいただいております。本日はよろしく申し上げます。

3、令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)について・・・学校長より説明

(資料参照)

令和3年度学校経営計画及び学校評価をお示しし、ご了解を頂戴するが数値は1月末で一旦閉めたものです。これからの教育庁とのやり取りで修正になることもあることをご了解ください。本日はスライドにまとめたものをプレゼンテーションさせていただきます。

① コロナによる学校休業日の最小化

今年度の休業はゴールデンウィーク中の土曜日の1日と、7月の終業式の日(午後)の2日間が学校全体の休業日となった。2学期は休業日なし。3学期は多数の感染者が出たが、休業日に関しては一旦放課後に生徒を帰宅させた後、迅速に校内の疫学調査を実施し、保健所と保健体育課に了承を得て1~2時間で再開することが

出来たのが2日。学級閉鎖は2クラスあるが、いずれも日曜日から火曜日の閉鎖で実質2日間の学級閉鎖で済んでいる。学校休業をしたために土日や長期休業に授業を補充するようなことは避けることが出来ている。保健所と保健体育課との連携をスムーズにすることが出来ており、学校休業を最小限にとどめ、生徒への学習の保障は出来ていると考えている。

② 総合的な探究

昨年度に続き「市長への提言」を実施。昨年度はオンラインで実施したが、今年度は2月9日に実際に枚方市長と枚方市の関係各部門の担当の方20名以上に来校いただいた。枚方市からは2度にわたりプレスリリースをしていただいた。枚方市と牧野高校とがWin-Winの関係になっている。発表当日は8つのテーマそれぞれに市長から生徒に対して質問やコメントを頂き、最後に講評を頂くなど、2時間半にわたり参加いただいた。ありがたい。

1年生は全く別のものであるが、様々なテーマを自分たち選んで研究している。教室の外に出たインタビューや図書館での調査などクロムブックを活用して実施。先週の木曜日にオンラインでクラス代表のプレゼン発表を実施。答えのない問いに対して様々な角度から見るといい機会になった。

③ 授業改善

前回の第2回学校運営協議会で「授業アンケート」の数値が今年度第1回も伸びたとお伝えしたが、第2回めの授業アンケートを実施し、更に数値が伸びている。先生方が授業研究、授業見学を実施しながら授業改善に取り組んでいることの結果だと考えている。

8割を超える生徒が「牧野高校の授業はわかりやすい」と回答している。今年度はクロムブックを活用してアンケートを行ったため、生徒はほぼ全員がアンケートに回答している。教員も職員会議後に全員がクロムブックでアンケートを実施したため、回答率が非常に高くなった。

④ 制服化3年目

制服化にして3年が経ち「遅刻数」が一番目に見えて減った。5年前までは2,000件ほどあったものが800件以下になった。先生方が頭ごなしに遅刻した生徒を叱るのではなく、それぞれの事情を聴いて指導するという「カウンセリングマインド」を取り入れた生徒指導が効果をあげていると考えている。

教員のアンケートでも「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」が出来ているという回答が9割を超えている。

⑤ いじめ対応

いじめが起きないように早め早めの対応をしている。先生方が慎重かつ丁寧に細かく聞きとりを実施。9割近い生徒が「いじめに対応してくれている」と感じてい

る。

⑥ 今後の課題

進路実績はまだ結果が出ていないので数字はこれからであるが「未だ道半ば」と感じている。

力を入れていきたいこととしては「コロナの中での競争力」。生徒の希望進路の実現という意味での競争力と進学で魅力ある学校として中学の志願者の確保という意味での競争力。

2月初旬の本校の志願者は昨年よりやや多い1,24倍程度。

学校経営計画及び学校評価以外の部分もあったが、概略を説明した。本校で5年間務めた。この学校は頼もしい人材のそろった、安心して後を引き継げる学校になったと感じている。5年間ありがとうございました。

- 委員・・・校長先生のこれまでやられたことの集大成。
- 校長・・・5年目ということで、集大成となる。
- 委員・・・いつも感心している。きちんと目標を設定されて、その実現のために、校長先生含め総力をあげて取り組んでおられる成果が出てきている。そういう意味で牧野方式と言える素晴らしいもの。感心する。
- 委員・・・やはりコロナが気になる。「休校します」という連絡が入ってもその日の夕方には「再開します」と連絡が入る。先生方が学校を休業しないために頑張っておられると感じている。夏休みや休日に授業をすることがなく生徒も喜んでいる。総合的な探究の時間が勉強だけでなく将来につながるの非常好い。学校に出入りする業者に知り合いがいるが「制服が変わり、生徒がまじめになった」と聞く。身近でも感じている。カウンセリングマインドの指導ということで先生方の数値が非常に高く、自信をもって指導されているのが分かる。保護者としても安心して子どもを任せることが出来る。保護者にもアンケートがあるが、設問によっては学校の様子が分からないので答えられないものがある。
- 校長・・・保護者から多くの同じご意見を頂いており「今年はコロナで全然学校に行けてないので、わかりません」という意見が多かった。体育祭等、保護者の方に学校に来て頂いて生徒を見る機会が多くあれば良いが、この2年はコロナでそれが出来ない。2年前までは保護者のアンケート結果を指標にしていたこともあるが、今年度はこの状況で保護者のアンケートの数値を分析するには無理がある。コロナが収束し、正常化した時には保護者のアンケートを目標に入れたい。
- 会長・・・最初にコロナのことをご紹介いただいたが、これだけ休業が少ないというのは生徒ひとりひとりの自己管理能力の高さ。良い子どもが入ってきているということだけではなく校風が日常生活まで影響を及ぼしているのではない

かと感じる。

感心したのは枚方市との探究の時間。高校生がコミュニティと関わっていく良い機会を作っている。1年生は1年なりの様々なテーマを設定されており、先生方の指導力が高く、専門性以外の部分でも教育的成果を出されている。

- 委員・・・令和3年度の学校評価の枠組みとは外れるが、5年間を測定できる数値化をして、PDCAで改善している非常に良い仕組み。かなり高いレベルにあるので次は維持していくフェーズに入っている。

気になるところとして、ネットの中であまり良い評価でない書き込みがあげられている。参考にされてはどうか。

- 校長・・・ネットの書き込みも時々見るようにしている。厳しいことを書いていることも承知している。生徒が旧態依然とした指導を嫌がる。新しい時代の指導を学校側もしっかり理解し、対応や導入していく必要がある。生徒にそのような意見があるということを理解したうえで大事にしたい。時代が変わっているということを我々が理解しなといけない。

- 委員・・・質問だが、枚方市との取組みで、市へ何か宿題を出したりしているのか。

- 校長・・・今回8つのテーマに対し、市長からのコメントがあった。「恋愛マッチングアプリ」みたいなものは考えていかれるとの事。枚方市には道の駅がないので農産物や枚方の「くらわんか」などの名物を広く周知したいというのに質問が色々出ていた。信号のない横断歩道で止まらない車が多いことに関し、一旦停止した車にポイントを付与するという案は枚方市も一緒に考えている。それらの取組のいくつかを、損保会社のコンペに対し、応募を枚方市が行った。市の方も牧高生の発想を喜んで前向きに考えていただいている。「牧野高校型の探究」として続いていけばいいと思う。

- 委員・・・市もしっかりフォローしてほしい。

- 会長・・・ネットの様々な調査の中に「大阪府内の住みやすさ」の調査があり、3位豊中市、2位高槻市、1位枚方市であった。地元の住みやすさに貢献して頂ければ良い取り組みになる。紙ベースでのアンケートからICTでのアンケートに変え、回収率が向上したとのこと。ICTの活用による教育で最も効果があるのは「即時フィードバック」というデータが出ている。生徒の質問に対して即時に色んな形でフィードバックが行われるのが進みつつあることも実感として伺われる。

4、令和4年度学校経営計画及び学校評価（素案）について・・・学校長より説明

(資料参照)

変更点には黄色の線が引かれている。数値を変えているものは多くが令和5年度での達成を目標にしていたものだったが、既に達成してしまったので、目標を上方修正している。

- 会長・・・令和3年度から引き続き「カウンセリングマインド」という言葉が使われていた。「カウンセリングマインド」というのは必ずしも進路・キャリアだけでなく生徒指導や学習指導においても有効。一人一人の生徒と向き合ってまずは聴く事からということで、非常に有効な概念である。そういうアプローチが先生方の意識もかえてきている。
- 委員・・・デジタル社会にICTの活用は大事なこと。さらに充実させて欲しい。使い方も合わせて教えていかなければならないだろう。

人権教育は非常に大切。単に学力を上げるだけではなく、社会人としてしっかり自立してやっていけるように育てて欲しい。自他ともに大切にできる人に磨いて欲しい。いじめの問題もまさにそうである。

成人年齢の引き下げに対する事業を意識して進めていただけたら良いと思う。弁護士会にも話をしている。要望があれば協力したい。
- 校長・・・来年度の第3学年の担当には伝えている。現在来年度の年度計画を作成している。お願いにあがるかもしれないので、よろしくお願いします。
- 会長・・・人権について、多様性やダイバーシティ等が課題にされているが、ジェンダーだけの問題ではなく、多様な生き方の指導など、重要な観点である。
- 委員・・・牧野高校に同窓会はあるのか。
- 会長・・・5年前は1期生の会長が40年以上一人で会長をしていて、卒業した年の卒業生のみが5月に集まるだけだった。組織化していなかった。1～3期生が3年前から動き出し、徐々に組織化した。昨年の11月に同窓会で「牧友会コンサート」を枚方芸術センター小ホールを借りて実施した。本校の吹奏楽部も参加した。本校の教職員にも今年度牧野高校卒業生が3名着任した。全部で5名の卒業生が現在牧野高校に教員として勤務している。3年後の50周年に向けて活動が活発化することが期待できる。
- 委員・・・同窓会は非常に大事。社会の中で活躍している先輩から学ぶことが出来る。牧野高校でも社会の各方面で活躍されている方もおられるので、人と人の結びつきを大事にしていきたい。
- 委員・・・校長先生が来られてから1年生から国公立の説明会を行ったり、勉強だけでなく部活動を頑張ることや文化祭など先生と生徒が盛り上がり「牧高の生活を楽しむ」ことを大事にされて進路も視野が広がるようになった。総合的な探究の時間においても、勉強だけでなくさまざまな活動を通して指導していただいている。子どもは「牧野に入って良かった」と言っている。

校舎西側の垂れ幕は何か。
- 校長・・・今年度の3年生の卒業記念品で作ってもらった。現在は、学校のキャッチコピーである「君の未来を創ろう」の文字を掲げている。3年生には最後の体育祭をやらせてあげたかったなど思うところはあるが、コロナの制約が厳しくある中で、何とか充実した高校3年間を過ごしてもらえたかと思う。

今年度は教育実習生に進学の時の話をしてもらったが、牧野高校の先輩の生の話が聞けて、とても評判が良かった。来年度はもっと多方面で卒業した

先輩たちを呼んで話をしてもらおう機会を作りたいと考えている。

- 会長・・・令和4年度に関しては様々な目標の上方修正は喜ばしいこと。ただし上方修正しても行きついており、これ以上、上に目標設定するのは無理な印象がある。リクエストでも要望でもないが「よく当てはまる」と「当てはまる」を足した「肯定的な意見」ではなく、「よく当てはまる」だけの数値を見るようにする項目を設定してみても良いのではないか。

5、各委員より一言

- 委員・・・前向きな生徒が多く良い学校。これを維持していけるよう頑張ってもらいたい。
- 委員・・・良い学校だとつくづく思う。クラブをやりながら勉強も頑張る文武両道の学校である。先生方が生徒たちをまっすぐ育てて欲しい。相談があれば自信を持って牧高を勧める。
- 委員・・・1年間の取組みが良く分かった。PTA役員の皆さんもとても熱心な方が多い。PTAにできることがあれば協力させていただく。
- 会長・・・多くの府立学校を知っているが、とても安心して来られる学校だと思っている。

6、閉会

学校長よりお礼